



成田山開基一千年祭

(昭和13年)

- 上 衣装を着て近所の少女と
後ろに見えるのは開運橋
- 下 張りぼての頭で仮装する人

撮影：長谷川 朋慶



大正元年成田町本町の碧玉堂印房に生まれる。彫師として新勝寺の印鑑などを手掛ける。写真を趣味とする。昭和19年出征。昭和20年戦没。

デジタル化：長谷川 興成



昭和13年成田町に長谷川朋慶の長男として生まれる。長じてエンジニアとなる。鉄道にも造詣が深い。

成田市立図書館 市史担当

電話: 0476(27)2533

写真は語る

長谷川朋慶氏が写した
戦時中の成田町



平成25年度市史展示

成田市立図書館



通う

- 上 新道にあったビリヤード場
戦争が始まってもしばらくは
営業していたという
- 下 成田幼稚園に通う子どもたち
白いエプロンに制帽姿

祇園祭

- (昭和19年7月)
- 上 神輿蔵の前で祈祷を受ける
- 下 祭装束に日の丸の鉢巻きを
巻いた子どもたち

出征

- 上 出征する友人を送る宴席
- 下 出征する青年への贈り物とし
て撮影された写真

当時個人でカメラを持つことは大変な贅沢でした。たいていの人にとって、写真は一生に一度か二度、人生の節目に写真館に行って撮ってもらうものでした。戦時下の物不足でフィルムや現像液などが手に入りにくかったこともあり、この時代の写真はたいへん貴重です。

これらの写真から、新しい発見もありました。詳しくは『成田市史研究第38号』に掲載予定です。

—資料—



軍事演習に参加する中学生（昭和10年）『図説成田の歴史』より



ポスター



開運橋付近

成田山開基一千年祭

成田山霊光館展示録『戦後50年 終戦から平和へ』より



陸軍の参詣



昭和18年元日

長谷川家の家族写真
と背景に写りこんだ
興亜会授産所の看板

成田町のできごと	年	参考事項
成田山開基一千年奉修事務局が成田山新勝寺内に設置される 東京日本橋三越で開催の房総博覧会に成田の郷土資料が出品される 国鉄成田駅新築落成式が行われる 新更学院が文部・陸軍両省から青年学校同等以上の過程を認可される	昭和10年	青年学校令公布 美濃部達吉が天皇機関説を唱え不敬罪で告発される 関東中心に暴風の被害。利根川氾濫
成田山開基一千年祭の記念展覧会が東京日本橋高島屋・福岡市玉屋・名古屋で開催される 成田山新勝寺の内仏殿・奥殿が竣工する 成田山公園内に薬草園が開設される 成田山開基一千年祭東京奉賛会が成立、深川不動堂に事務所が置かれる	昭和11年	二・二六事件 IOCは第一二回オリンピック開催地を東京に決定（昭和13年返上） 第11回ベルリン・オリンピックで前畑秀子ら金メダル 中郷村では村民に慰問袋の発送を奨励する
成田山開基一千年祭の記念展覧会が大坂高島屋・大分県別府市博覧会場で開催される 成田山開基一千年祭を記念して東京歌舞伎座で「成田山大縁起・天慶兵乱」などが上演される 成田山開基一千年祭を記念して東京歌舞伎座・大阪歌舞伎座で「不動」が上演される 成田参光協会主催の観光祭りが開催される 成田鉄道自動車部が木炭バスの試運転を始める	昭和12年	文部省編「国体の本義」全国に配布 日中戦争始まる 南京事件 県下でも国民精神総動員運動が展開される 豊住村勤労奉仕奨励要項が制定される
成田山開基一千年記念開帳が始まる 成田山新勝寺で出征将兵武運長久祈禱会が執り行われる 成田町で防空演習が行われる	昭和13年	灯火管制規則実施 遠山村で第1回の慰問袋を発送する 台風による豪雨で、根木名川流域及び印旛沼沿岸は1か月にわたる大水害となる
「成田町報」が創刊される 成田町会で成田町興亜授産所の設置案が可決 興亜記念奉仕道路（京成成田駅～現在の成田高校前）の起工式が行われる 成田町銃後奉公会が設置される 成田町警防団が結成される	昭和14年	満州に千葉村建設を決定 第2次世界大戦始まる 公津村農会では各区に対し軍需用乾草の割り当てを行う

—資料—



供出された団十郎像



家庭用生活必需品購入通帳



興亜記念道路工事



花咲町の大火（昭和20年5月）

成田町のできごと	年	参考事項
<p>米屋・柳屋が原料不足で、初めて3日間羊かんの製造を中止する</p> <p>成田町長が町民に対し「戦時生活刷新ニ関スル件」及び成田町戦時生活刷新委員を通知する</p> <p>愛国婦人会と国防婦人会が統合、成田町婦人報国</p>	昭和15年	<p>米・味噌・マッチ・砂糖など10品の切符制採用を決定</p> <p>東京市内に「贅沢品は敵だ」の立て看板</p> <p>砂糖・マッチ切符制全国実施</p> <p>労働組合・農民組合が相次いで「自発的」解散</p>
<p>私立成田中学校で交友会を解消し、成田中学校報国団を結成する</p> <p>成田山の団十郎像の献納が決定される</p>	昭和16年	<p>八生村において米穀割当配給通帳制実施</p> <p>台風による豪雨で、根木名川流域・印旛沼沿岸とも大水害となる。</p>
<p>成田山新勝寺が初護摩に大東亜戦争大勝利大護摩を修業する</p> <p>成田旅館組規約が改正され、自粛制裁規定も定められる</p>	昭和17年	<p>食糧管理法公布</p> <p>翼賛選挙</p> <p>金属回収令で寺院の梵鐘・仏具など強制供出</p> <p>ミッドウェー海戦（日本軍大敗）</p>
<p>興亜記念道路が新設され、竣工式が行われる</p> <p>東京への青果物行商列車が廃止される</p> <p>2日間にわたる防空訓練が行われる</p> <p>成田町及びその周辺の衣料品食料品小売業者を統合した成田地区生活必需品小売り統制組合が結成される</p> <p>成田国民学校高等科の男子70人、女子100人が子宝靴工場などで作業に従事していることが新聞に報道される</p>	昭和18年	<p>ジャズ等英米楽曲1,000種の演奏禁止</p> <p>日本軍がガダルカナル島撤退開始</p> <p>八生村で電灯用電力の使用制限が強化される</p> <p>八生村で昭和18年度衣料切符が交付される</p> <p>長沼の干拓の起工式が行われる</p> <p>成田鉄道多古線がセレベス開発鉄道への資材転用のため撤去される</p>
<p>米屋・柳屋が羊かん製造を一時中止する</p> <p>県から成田町に300人の疎開依頼があり、35人の引き受けを決める</p> <p>成田鉄道会社が成田山門前一宗吾間の営業を廃止</p>	昭和19年	<p>学徒勤労働員の通年実施決定</p> <p>学校工場化実施要項発表</p> <p>サイパン島日本守備隊3万人全滅</p> <p>学徒集団疎開第1陣が上野出発</p>
<p>図書館、役場、郵便局、新勝寺に横穴防空壕が掘られる</p> <p>花咲町商店街で火災が発生し、184世帯が被災</p> <p>習志野陸軍病院臨時成田分院が駿河屋に置かれる</p>	昭和20年	<p>国民勤労働員令公布</p> <p>終戦</p> <p>八生農学校で学徒隊の解隊式が行われる</p>